

- 1 単元名 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう
 教材名 「大造じいさんとガン」 椋 鳩十

2 指導の立場

(1) 単元で付けたい力

本単元「大造じいさんとガン」の学習を通して付けたい力は以下の通りである。

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。 読工

登場人物の相互関係や心情をとらえるとは、人物同士の関わりから人物像を考え、それと共に人物の内面にある深い心情についても併せて考えていくことである。

また、優れた叙述について自分の考えをまとめるとは、メッセージ性の強い表現に気づき、選んだ魅力の理由について、叙述をもとに感想などにまとめたりしていくことである。本教材の学習を通して、こうした力を付けていく。

(2) 単元・題材について

「大造じいさんとガン」の特徴は、大造じいさんと残雪の関係が様々な呼称から想像できたり、大造じいさんの心情が、色彩豊かな情景描写で描かれていたりするところである。

本教材では、登場人物の心情が相互関係に基づいた行動や会話、情景描写などで表現されている。そのため、子どもたちは登場人物についての多様な表現から人物像について考え、想像を豊かにしながら読むことができると考える。

また、本教材には、「秋の日が、美しくかがやいて」「東の空が真っ赤に燃えて」といった象徴性や暗示性の高い優れた表現が数多く使われている。そのため、単元で付けたい力に迫ることができると考える。

(3) 言語活動とその特徴

三つ折りになったブックウィンドウには、三つの面がある。ブックウィンドウの右の面は、1・2場面の魅力をまとめ、左の面は3・4場面の魅力をまとめるようになっている。そうすることで、作品の魅力を時系列でまとめることができ、思考も整理できると考えた。また、真ん中の面には、本作品の特徴である情景描写についての魅力をまとめられるようにした。

そして、単元の終末では、完成したブックウィンドウの三つの面から一番魅力だと感じた場面を一つ選び、その場面について語る鑑賞会を設定する。子どもたちが自分の言葉で「 の場面の～～というところが魅力的でね…」と思いを伝え合えるようにする。

三面という形を生かして、毎時間学習したことを積み上げると同時に、単元の終わりには、完成したブックウィンドウを使い、仲間と物語の魅力を伝えられると考え、この言語活動を取り上げる。

【読むこと領域の単元と言語活動の計画】

1学期 なまえつけてよ	【単元のねらい】 人物像と、人物同士の関わりに気をつけて読み、作品について自分の考えをもち、それを発表し合って広げたり深めたりすることができる。	【言語活動計画】 なまえつけてよのブックウィンドウ作り
2学期 大造じいさんとガン	【単元のねらい】 優れた叙述をもとに、直接書かれていない人物の深い心情や性格について想像して読み、自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを広げたり深めたりすることができる。	【言語活動計画】 大造じいさんとガンのブックウィンドウ作り
3学期 わらぐつの中の神様	【単元のねらい】 物語の特色が「構成」「人物像」「表現」に表れていることを理解し、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。	【言語活動計画】 読書会

3 研究にかかわって

研究内容1 教材と向き合い、既習事項と比較し、自分の考えをもつことができたか。

- (1) 導入時に児童の意欲を引き出し、単元・単位時間の見通しをもたせるための工夫(教材との対話)
単元の導入では、教師が行うブックウィンドウを使用した作品紹介をする。そうすることで、単元を通してどのような学習をするのか、単元の終わりにはどのような作品を作るのかが具体的にイメージできるのではないかと考える。
単位時間の振り返りでは、行動・会話・情景描写の視点をもとに一番魅力的な表現を選び、その理由をブックウィンドウに書いていく。ブックウィンドウに記述する視点を明確にし、内容理解のための3時間の流れを固定することで、見通しをもち主体的に取り組めるようにする。
- (2) 個の考えをもたせるための課題設定や、考えをつくるための視点を与える工夫(自分との対話)
個人追究では、行動・会話・情景描写の視点から、大造じいさんの心情について考えさせる。机間指導では、「どこから大造じいさんの心情が分かるか」を尋ね、心情が一番よく分かる所はどこなのかを見つけさせる。そして、それと同時に自分の考えがもてるよう、「そこからどう思ったか」「なぜそこを選んだか」ということを尋ねるようにする。
単元の終わりに行う鑑賞会では、自分と仲間の意見を比べながら聞くことを大切にする。交流を通して自分の意見と同じなのか、違うのかを明らかにさせ、仲間の意見から感じたことや学んだことを付箋に記すようにする。そうすることで、魅力だと考える表現が同じでも、理由が違うことや、選んだ理由が同じでも、魅力だと考える表現が違う場合があることを知り、考え方や感じ方が異なるおもしろさに気づかせることができると考える。

研究内容2 仲間と共に考えを練り合い、自分の考えを高めることができたか。

- (1) 展開時の交流において自分の考えを広げたり、深めたりできるような形態、交流の工夫(仲間との対話)
全体交流後にグループ交流を位置づけた。このグループ交流では、互いが一番魅力だと感じた表現について考えを交流し、互いの思いが伝わるか確認することを目的としている。
子どもたちは、全体交流で多様な考えに触れた後、再度作品と向き合い魅力的な表現を選ぶことになる。自分にとって一番魅力を感じる表現はどれか、また、なぜ魅力を感じるのかを言葉にして他者に伝えることで、自分の考えがより固まったり、伝わりづらい部分が解消されたりするのではないかと考える。
グループ交流では、話型は固定しない。あらかじめ交流のポイントをおさえておき、仲間の意見がよく伝わった時には、「ここから特に思いが伝わってきたよ」と話したり、分かりづらかった時には、「ここがよく分からなかったんだけど、どういうこと?」と尋ねたりすることを大切にする。そうすることで、子どもたちは作品について自然と話し合うことができると同時に、自分の考えを明確にし、ブックウィンドウ作りに生かすことができると考える。

研究内容3 学習内容を確実に理解し、自分の考えを深めることができたか。

- (1) 終末時に、自分の考えの変容を振り返り、学びを実感するためのまとめの工夫(自分との対話)
単位時間の終わりにブックウィンドウの作成を位置づけた。子どもたちは、全体交流を通して自分と仲間の意見を聞き比べ、自分が一番魅力を感じる表現はどれなのかを考える。ブックウィンドウには、個人追究で見つけた魅力だけでなく、仲間の意見から学んだことも「選んだ理由」として自由に記述させ、仲間の意見からの深まりを感じさせられるようにする。また、ブックウィンドウに書く内容は、個人追究で見つけた表現と変化してもよいことを伝え、仲間の意見から学びを深めていくことを、子どもたちと共通理解し、大切にしていける。

4 単元指導計画（全6時間）

次	時	ねらい	学習活動	評価規準
1	1	読書を通して伝え合うことの楽しさを感じ、ブックウィンドウ完成までの見通しをもつことができる。	<p>ブックウィンドウを使った本の紹介を聞き、ブックウィンドウの書き方や本の紹介の仕方を知る。</p> <p>ブックウィンドウを作るための学習計画を立てよう。</p> <p>単元の学習の見通しをもち、単元を貫く課題を共通理解する。</p> <p>単元を貫く課題 「登場人物の行動や会話、情景描写に着目して物語を読み、作品のみりよくを見つけよう」</p> <p>分からない語句をチェックしながら、教師の範読を聞く。大造じいさんはすごい人なのかどうかを考え、その理由を感想に書く。また、大造じいさんのすごさが作品の魅力につながることを確認する。</p>	ブックウィンドウの完成を意識した学習計画を立て、単元の学習に目的と見通しをもっている。
	2	物語の構成や、場面ごとの作戦に着目して、物語の全体像をとらえることができる。	<p>分からない語句を確認する。</p> <p>場面のあらすじをとらえよう。</p> <p>物語の構成や、場面ごとの作戦を確認し、物語の全体像をとらえる。 次時に向けて、大造じいさんの心情が分かる所を見つける。</p>	物語の構成や、場面ごとの作戦を読むことを通して、物語の全体像をとらえている。
2	3	行動や会話に着目して読むことを通して、大造じいさんの心情が分かる表現を見つけ、その中から一番魅力的な表現を選び、選んだ理由をブックウィンドウにまとめることができる。	<p>前時の学習を振り返る。</p> <p>「今年こそは」と残雪を捕まえようとする 大造じいさんのすごさはどこにあるのか考えよう。</p> <p>大造じいさんの心情が分かる表現に線を引き、一つ選んで魅力的だと思ふ理由を書く。 前半の魅力について全体で交流する。 前半の魅力の一つを選び、グループで交流する。 ブックウィンドウに前半の魅力をまとめる。</p>	行動や会話から大造じいさんの心情を想像し、一番魅力的な表現を見つけている。
	4		本時	
	5	情景描写に着目して読むことを通して、大造じいさんの心情と結びつく表現を見つけ、その中から一番魅力的な表現を選び、選んだ理由をブックウィンドウにまとめることができる。	<p>前時の学習を振り返る。</p> <p>情景描写に着目して読み、大造じいさんの心情の変化と結びつくみりよくな表現を見つけよう。</p> <p>大造じいさんの心情と結びつく情景描写に線を引き、一つ選んで魅力的だと思ふ理由を書く。 魅力的な情景描写について全体で交流する。 魅力的な情景描写の一つを選び、グループで交流する。 ブックウィンドウに魅力的な情景描写をまとめる。</p>	情景描写から大造じいさんの心情を想像し、一番魅力的な表現を見つけている。
3	6	鑑賞会を開いて、作品の魅力を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	<p>鑑賞会の方法を確認する。</p> <p>鑑賞会を開き、作品のみりよくを伝え合おう。</p> <p>ブックウィンドウを使い、グループで魅力を伝え合い、仲間の意見を聞いた感想を付箋に書く。 鑑賞会を通して見つけた自分と仲間の意見の相違点や、そこで感じたことを全体で交流する。</p>	ブックウィンドウを使って作品の魅力を伝え合い、仲間の意見から自分の考えを広げたり深めたりしている。

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

残雪のことを「堂々たる態度」「ただの鳥に対してしているような気がしない」などと表現している描写に着目して読むことを通して、大造じいさんの心情について考え、そこから魅力的な表現を選び、選んだ理由をブックウィンドウにまとめることができる。

(2) 本時の展開 (4 / 6)

	学習活動	対話を引き出す手立て
導入	<p>前時の学習を振り返る。(教材との対話)</p> <p><u>「たかが鳥」</u></p> <p>「いまいまして」とも書いてあるように、大造じいさんにとって残雪は、にくい存在だったと思います。たかがという言葉から、残雪のことをばかにしているように感じるし、本当に捕まえたいと思っていることが分かりました。</p> <p>本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>残雪のことを「堂々たる態度」と表現している 大造じいさんのすごさはどこにあるのか考えよう。</p> </div>	<p>前時に作ったブックウィンドウを紹介し、「今日はその続きを作ろう」という意欲につなげる。</p>
展開	<p>大造じいさんの心情が分かる表現に線を引き、魅力的だと思う理由を書く。(自分との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「堂々たる態度」 人間に話しかけているようで、残雪のことを認めているようだから。 ・「ただの鳥に対してしているような気がしませんでした。」 ただの鳥ではないという言い方から、残雪の行動に心を打たれたことがよく分かるから。 ・「さあ、いよいよ戦闘開始だ」 いよいよという言葉から、残雪を捕まえたくて仕方がない気持ちが伝わってくるから。 ・「ガンの英雄よ」 今までの呼び方と全く違う。残雪を良いライバルだと認めたことが伝わってくる。 <p>大造じいさんのすごさについて全体で交流する。(仲間との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は「いかにも頭領らしい、堂々たる態度」という表現が魅力的だと思いました。大造じいさんは、それまで残雪のことをいまいまして思っていたり、たかが鳥と言っていたのに、この場面では、残雪のことをすごい奴だと思っていることが分かるからです。 ・「再びじゅうを下ろしてしまいました。」の所で、かりゅうどなのに残雪の姿に心を打たれて撃つのをやめたから、大造じいさんはすごいと思いました。 <p>後半の魅力について考え、グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は「いかにも頭領らしい、堂々たる態度」の所が、鳥に対する表現に思えなくて魅力的だと思ったけれど、仲間の意見を聞いて、大造じいさんはかりゅうどなのに、残雪を撃たなかったという所もすごいと思いました。敵だった残雪のことを「堂々たる態度」と言えるなんて、大造じいさんはやっぱりすごいと思います。 <p>ブックウィンドウに後半の魅力をもとめる。(自分との対話)</p>	<p>机間指導では、「どこから大造じいさんの心情が分かるか」を尋ね、心情が一番よく分かる所から考えるように指導する。</p> <p>ブックウィンドウに後半の魅力を書くことをグループで確認し合う。魅力だと考える理由について、言葉が足りなければ互いに質問や意見を交わすようにする。</p>
終末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>「いかにも頭領らしい、堂々たる態度」</u></p> <p>それまで残雪のことを「たかが鳥」「残雪め」とよんでいた大造じいさんの気持ちの変化が分かっておもしろいと思いました。残雪を捕まえたくて仕方がなかった大造じいさんの気持ちの変化するくらい、残雪の行動はすごかったし、捕まえるのをやめた大造じいさんもすごいと思いました。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準</p> <p>「堂々たる態度」などの表現から大造じいさんの心情を想像し、魅力的な表現を見つけている。</p> </div> <p>魅力的だと思った理由を書く際は、「本文のどの言葉からそう思ったのか」ということを大切に、本文に立ち返らせる。</p>